

## (15) スターチス(リモニウム)

### ア 各病害虫の防除

灰色かび病

萎凋細菌病

ウイルス病

アブラムシ類

ヨトウムシ類

ミカンキイロアザミウマ

## ア 各病害虫の防除

### 【留意事項】

(□は総合防除計画に掲載している病害虫)

### 灰色かび病

---

(耕種的・物理的防除)

- 1 施設は通気を良くし、湿度を下げる。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 発病ごく初期から、薬剤を施用（散布）する。

### 萎凋細菌病

---

(耕種的・物理的防除)

- 1 発病株を直ちに抜き取る。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 薬剤により土壌消毒を行う。

### ウイルス病

---

(耕種的・物理的防除)

- 1 発病株を直ちに抜き取る。

(薬剤防除)

- 1 [本項のアブラムシ類の防除](#)に基づき防除を行う。

### アブラムシ類

---

(耕種的・物理的防除)

- 1 育苗時からアブラムシ類の発生に注意する。黄色粘着テープを施設の出入口や開口部の近く、若しくは苗の近くにつるし、有翅成虫が飛来していないか確認する。
- 2 近紫外線除去フィルムは成虫の飛来を減らす効果があるので、これらのフィルムを施設の外張りやトンネルに使用する。
- 3 施設では、側窓や天窓などの開口部に寒冷紗や防虫ネット等を張り、成虫の飛来を防ぐ。
- 4 マルチをする場合は、シルバーポリマルチなど忌避効果のあるものを使用する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 気門封鎖剤を散布する。
- 2 くん煙剤の使用については、[共通防除の章の温室・ビニールハウスでのくん煙剤・常温煙霧剤の使用法の項](#)を参照する。
- 3 発生が予想される場合には、薬剤を施用（散布）する。

### ヨトウムシ類

---

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 交信かく乱剤を活用する。
- 2 若齢幼虫のうちに、薬剤を施用（散布）する。

### ミカンキイロアザミウマ

---

・[共通防除の章のアザミウマ類の防除の項](#)を参照する。

(耕種的・物理的防除)

- 1 施設内への侵入を防ぐため、開口部に防虫ネットを展張する。育苗期の被覆も有効である。ほぼ完全に侵入を阻止するには、目合い0.4mm以下の防虫ネットが必要である。
- 2 ほ場周辺の雑草を除去する。

3 粘着テープにより成虫を誘殺する。本種は特に青色に誘引される。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

1 生物農薬は予防的に散布する。

※天敵の放飼と薬剤散布(殺菌剤を含む)とを併用する場合は、[農薬安全使用に関する参考資料の章の「天敵等への化学農薬の影響の目安」](#)を参照し、天敵に影響の少ない農薬を選択する。

※ミカンキイロアザミウマの生息密度が高まってからの放飼は十分な効果を得られない場合があるので、発生初期からの放飼が重要である。

2 キルパーを用いた病害虫まん延防止 ([共通防除の章の資材・苗床・本ぼの消毒の項の「キルパーを用いた前作の古株枯死、病害虫まん延防止」](#)を参照) ([農薬登録情報](#))

3 発生が予想される場合には、薬剤を施用(散布)する。